

箕輪町「大出区安全安心なまちづくり推進協議会」の設立経緯

箕輪町は、WHO(世界保健機関)が推奨する安全安心なまちづくりであるセーフコミュニティの国際認証を再取得して活動を展開し、町内6地区でもセーフコミュニティ組織を設置して活動を行っています。

この度、大出地区(人口約2000人)でも組織を設置して、より安全安心なまちづくりを進めていくこととしました。

1 名称

大出区安全安心なまちづくり推進協議会(会長・区長)

傘下に「事務局」

区内の安全安心を脅かしている事案の把握と対応を検討する「総務対策委員会」

防災減災等に対応する「防災・減災対策委員会」

を設置

2 規約承認日と設立発足式

規約は、平成30年11月19日、地域自治会の最高決定機関である大出区合同会で承認され、設立発足式と祝賀会は年明けの1月20日(日)に実施。

(設立は、規約承認の平成30年11月19日)

3 経過

(1) 本年度、区議会にて安全安心なまちづくりの組織協議を開始し、区主要役員が細部検討

(2) 9月19日、地区合同会に資料

・大出区を取り巻く安全・安心の状況について

を提出

(3) 10月19日、地区合同会に

・大出区の安全安心なまちづくり組織の設置について(案)

・大出区における安全安心なまちづくり(セーフコミュニティ)組織設置について

～これまでの設置検討における区議からの質問と回答について～

・大出区安全安心なまちづくり推進協議会規約(案)

を提出し協議依頼

(4) 11月19日、地区合同会で規約承認

(5) 12月19日、地区合同会で設立発足式、祝賀会日程(平成31年1月20日)を報告

4 関連取組み

大出区安全安心なまちづくり推進協議会は、地震等の災害対策を主要課題としています。これを見据えて大出区は次の取組みを行っています。

①本年7月26日、大出区コミュニティセンターに災害用にその活用が期待される飲料水自動販売機を設置

②本年12月6日、近隣スーパーと災害時の車両避難場所申合せ

～以上～